

## 平成 29 年度 「スラブ・ユーラシア地域（旧ソ連・東欧）を中心とした総合的研究」に関わる「共同研究班」 研究報告書

平成 30 年 4 月 9 日現在

研究課題名	近現代の中央ユーラシアに関する共同研究		
担当者	氏名		所属機関・職
	1	宇山 智彦	北海道大学・スラブ・ユーラシア研究センター・教授
	2	長縄 宣博	北海道大学・スラブ・ユーラシア研究センター・教授
班員	氏名	所属機関・職	専門とする研究分野
	吉村 貴之	早稲田大学・研究員	アルメニア近現代史
	研究テーマ		
	第二次世界大戦以降のアルメニア「本国」と在外同胞との関係		
班員	氏名	所属機関・職	専門とする研究分野
	野坂（佐原）潤子	ビルケント大学・博士課程	ロシア・オスマン関係史
	研究テーマ		
	ロシア帝国のコーカサス征服 北カフカス諸民族のオスマン帝国への移住		
班員	氏名	所属機関・職	専門とする研究分野
	長沼 秀幸	日本学術振興会・海外特別研究員	ロシア・カザフ関係史
	研究テーマ		
	ロシア帝国のカザフ草原統治（18 世紀末から 19 世紀中葉）		

## 研究成果の概要

本研究班の最大の成果は、2017 年 12 月 7～8 日にセンターの冬期国際シンポジウムとして「ロシア革命と長い 20 世紀」を開催したことである。これは、科研費基盤研究 A「比較植民地史：近代帝国の周縁地域・植民地統治と相互認識の比較研究」（研究代表：宇山智彦）との共催で行われた。その前日企画として班員の長沼が組織した国際ワークショップ「戦争と社会秩序の変容：ロシアによる中央アジアとコーカサスの征服」は、「長い 20 世紀」に先立つ帝国統治の暴力性を地域横断的に考察する刺激的な議論の場となった。シンポジウムは、第一次世界大戦と十月革命に起点を置く「短い 20 世紀」ではなく、19 世紀末の帝国主義とそれに対抗する民主主義的理念の拡散も含めた文脈に、ロシア革命を位置付けるものだった。それにより、反帝国主義や民族自決など「解放の夢」に魅了された人々の協力、交渉、競合、衝突が「長い 20 世紀」を形作ってきたことが明

**研究成果の概要（続き）**

確になった。また、オスマン帝国、イラン、南アジア、中国、イギリス帝国の専門家が参加することで、ロシア史研究者からは見えにくいロシア革命とソ連の周辺世界に対する衝撃をより深く捉えることができ、いわば「革命ロシアのトランスナショナルヒストリー」を実現できた。

各班員の成果としてまず吉村は、シンポジウムのセッション1「ユーラシアにおける立憲革命の連鎖」で討論者を務めたほか、2月に研究成果報告を行った。それは、ソ連末期の1990年にアルメニアで成立した非共産党政権が独立後に在外同胞を政権に取り込んで欧米との関係を強化したが、90年代後半からナゴルノ・カラバフ紛争の停戦の仲介役として影響を強めたロシアへの外交的依存を深めていく過程を辿るものだった。野坂（佐原）は、長沼の組織したワークショップでも英語で報告し、ロシア帝国全体のムスリム諸民族の統合の問題、そして彼らの国境を越えた諸活動に関する問題について議論を深めた。北大での資料調査としては、1864年の北コーカサス諸民族の移住を伝える現地新聞・雑誌の記事を集められた点に大きな成果があった。アルマトゥに滞在する長沼は18・19世紀ロシアのカザフ支配について主に制度的観点から研究に従事した。そして、上記ワークショップの組織のためセンターに滞在した際は、北大図書館で研究課題に直接かかわる資料の他、ロシア史・中央アジア史に関する近年の研究動向を調査した。

**主な発表論文等（雑誌論文、学会発表、図書 等）※謝辞の有無について明記願います。**

宇山智彦責任編集『越境する革命と民族（ロシア革命とソ連の世紀5）』岩波書店、2017年、338頁（宇山が1-64、315-316頁、吉村が153-178頁、長縄が179-203頁を分担）。謝辞無

長縄宣博『イスラームのロシア：帝国・宗教・公共圏 1905-1917』名古屋大学出版会、2017年、427頁。謝辞無

長沼秀幸「19世紀初頭カザフのハンに対するロシア帝国の政策：中ジュズにおけるハン並立制の分析を中心に」『日本中央アジア学会報』13号、2017年、1-24頁。謝辞無

長沼秀幸「カザフ草原西部におけるロシア帝国の統治の協力者（一七八四-一八二四年）」『ロシア史研究』100号、2017年、166-190頁。謝辞無

吉村貴之「近現代アルメニア人社会が包摂する「境界」」『歴史学研究』963号（續文堂出版）、2017年、19-27頁。謝辞無

**当該研究活動を基に応募中の研究プロジェクト（科研費等）**

本研究班の担当者である長縄は、研究代表者として科学研究費助成事業基盤研究（B）「暴力による民主主義の20世紀：トランスナショナルヒストリーの試み」（平成30-34年度）に申請し、採択された。

※枠を調整することは構いませんが、ページは追加しないでください。